

登録コード	EKE13900	開講年度	2026				
授業科目	持続可能な社会づくりと教育					担当教員	安達 仁美 他
英文授業名	Creating a Sustainable society and Education					副担当	水谷 瑞希
単位数	1	講義期間	後期(隔週A)	曜日・時限	金曜・5時限後半～6時限	履修学年	
講義室	教育N319			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】		
	26EAカリ, 25EAカリ, 24EAカリ						
	教育の専門職としての学識・技能				・持続可能な社会づくりに関連する持続可能な開発のための教育(ESD)等の基礎的概念を理解し、実現する上で必要な知識・技能を得ることができる。		
	26EAカリ, 25EAカリ						
	協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力				・持続可能な社会づくりに関連する持続可能な開発のための教育(ESD)等の基礎的概念を理解し、協働的な問題解決を可能にする知識・技能を得ることができる		
(2)授業の概要	ESD/SDGsに関連する諸概念について演習形式で討議する。さらに、教育現場の視察や学校教育における実践事例の検討をした後、今後のESD/SDGsと教育の在り方に関する考え深めまとめる。						
(3)授業計画	第1回：ガイダンス&ESD/SDGsの成り立ち(安達教員・水谷教員) 第2回：2030に向けたESD/SDGsと教育の在り方(安達教員) 第3回：ユネスコエコパークを活かしたESD/SDGs(水谷教員) 第4回：ユネスコエコパークを活かしたESD/SDGsの実践<遠隔>(水谷教員) 第5回：ユネスコエコパークを活かしたESD/SDGsの討議<遠隔>(安達教員) 第6回：ユネスコスクールにおける子どもの学び<遠隔>(安達教員・水谷教員) 第7回：演習のまとめ<遠隔>(安達教員・水谷教員)						
(4)成績評価の方法	・授業のねらいの到達度を測る発表(60%)およびディスカッションへの参加度(40%)により総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)履修上の注意	・受講生の状況に応じてオンラインを併用して授業を行う。 ・課題に対する疑問点などを整理しておくこと。常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞみ、積極的に意見交流してほしい。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	・安達：北校舎N308 E-mail: adachi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：メール予約で随時対応 ・水谷：附属志賀自然教育研究施設 E-mail: mmizuki@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：メール予約で随時対応						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：持続可能な社会づくりに関連する教育の知識・方法・原理(概念)を高度に理解するとともに、探究姿勢をもって課題演習に取り組み、高度な成果を示している。 「かなり上にある」：持続可能な社会づくりに関連する教育の知識・方法・原理(概念)を的確に理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習に取り組み、良好な活動成果を示している。 「やや上にある」：持続可能な社会づくりに関連する教育の知識・方法・原理(概念)をおおよそ理解し、与えられた課題演習に誠実に取り組み、そこそこの活動成果を生み出している。 「水準にある」：持続可能な社会づくりに関連する教育の知識・方法・原理(概念)の基本を最低限理解するとともに、与えられた課題演習の一部を誠実に取り組み、努力の認められる活動成果を示している。						
(8)事前事後学習の内容について	・各回の講義内容に関連した文献等を事前に図書館などで自主的に検索・収集して調べる。また、各回の講義で話題になったことについて、事後に自分で調べて考察を深めること。 ・1単位の授業科目について、授業時間外の学修時間も含めた45時間の学修を必要とする。30時間以上の時間外学習を必要とする。						
【教科書】	・授業内で適宜提示する。						
【参考書】	・授業内で適宜提示する。						